

製品名: RAN マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81657**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	24.4kDa

抗原情報

遺伝子名	RAN
別名	TC4; Gsp1; ARA24
遺伝子 ID	5901.0
SwissProt ID	P62826
免疫原	大腸菌で発現したヒト RAN (AA: 1-216) の精製された組み換え断片。

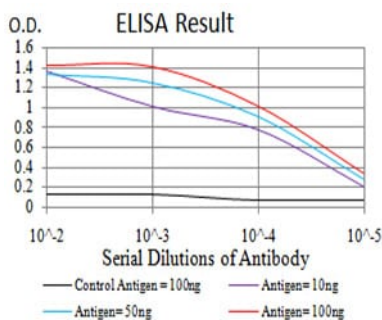
背景

RAN (ras 関連核タンパク質) は RAS スーパーファミリーに属する小さな GTP 結合タンパク質で、核膜孔複合体を通る RNA とタンパク質の輸送に不可欠です。RAN タンパク質は、DNA 合成と細胞周期の進行の制御にも関与しています。RAN が核に局在するに

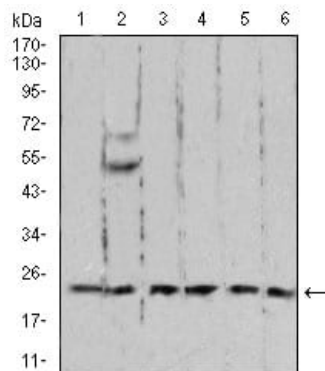
は、染色体凝縮調節因子 1 (RCC1) の存在が必要です。RAN の変異は DNA 合成を阻害します。RAN は多くの機能を持つため、他のいくつかのタンパク質と相互作用する可能性があります。RAN は、核と細胞質間の高分子の交換における役割とは独立して、微小管ネットワークの形成と組織化を制御します。RAN は、有糸分裂中の微小管重合を制御する重要なシグナル伝達分子である可能性があります。RCC1 は、クロマチンの周囲に RAN-GTP の高濃度を局所的に生成し、それが今度は微小管の局所的な核形成を誘導します。RAN はアンドロゲン受容体 (AR) の共活性化因子であり、アンドロゲン受容体内の異なる長さのポリグルタミンと異なる結合をします。AR におけるポリグルタミン反復配列の伸長は、ケネディ病 (X連鎖性球脊髄性筋萎縮症) と関連しています。RAN による AR の共活性化は、AR 内のポリグルタミン反復配列の伸長とともに減少し、この弱い共活性化は、ケネディ病の発症中に部分的なアンドロゲン不応性につながる可能性があります。

研究分野

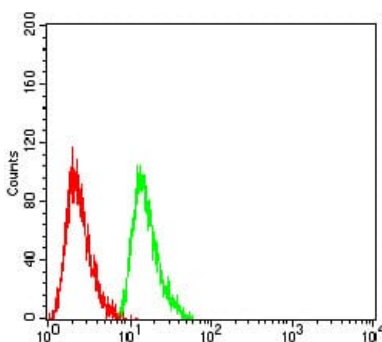
画像データ



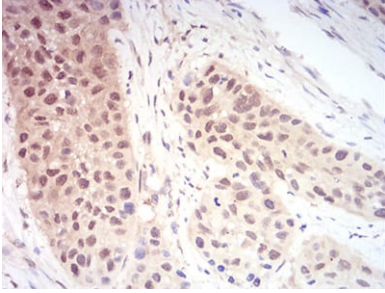
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



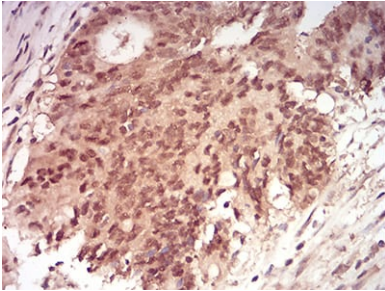
A431 (1)、C6 (2)、Jurkat (3)、HeLa (4)、COS7 (5)、および Jurkat (6) 細胞溶解物に対する RAN マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



RAN マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



RAN マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



RAN マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。